

# 教育課程活動にかかわる現状と課題

部長 今井文幸

## 1 教育課程活動の動向

### 【上越地区】

上越市では、昨年度から各学校の特色ある教育課程編成を進めるための「視覚的カリキュラム表」の作成に取り組んでいる。上越市立大手町小学校（研究主任；藤本高雄教諭）が、文部科学省の研究開発学校として教育課程研究指定を受けて先進的な実践を行っている。

### 【中越地区】

魚沼市立井口小学校（研究主任；竹垣雅彦教諭）が、10月14日に県小教研指定3年次の研究発表会を行った。「生き生きとかかわり合い、互いに認め合う子どもを育てる教育課程の編成と実施」と題して、共生向上力をはぐくむ教育活動について実践発表した。

### 【下越地区】

胎内市立中条小学校（研究主任；佐藤肇教諭）が、1月27日に「活用する子どもを育てる授業の創造」と題して、文部科学省指定3年次の研究発表会を行った。これは、学力向上実践研究推進事業の発表であり、教育課程の工夫・改善につながるものである。

### 【新潟地区】

新潟市立新潟小学校（研究主任；羽田雄偉教諭）が、文部科学省指定の研究開発学校として、12月3日に「自分自身を取り巻く環境に進んでアクセスし、適切にコミュニケーションを図る子供の育成」と題した2年次研究の中間発表を行った。

## 2 教育課程活動の課題

- (1) 各学校では、来年度からの新学習指導要領の完全実施に向けて、県教委や市教委等の指導・連携のもとで自校化に向けた教育課程の編成作業を進めている。そこにおいて、閉校や学級減に伴う教員数の減少から教育課程部会が設置されていない郡市が多くなっており、情報交換の機会がもてない状況が出てきている。
- (2) 中越地区の三条市や南魚沼郡では、小中一貫教育の導入が進められており、小中連携による教育課程編成が喫緊の課題となっている。